

平成 22 年度麻布大学静岡県同窓会（静岡県支部）総会報告

平成 22 年度麻布大学静岡県同窓会総会（彦野卓馬会長）及び懇親会が 7 月 4 日（日）に静岡市のクーポール会館において開催されました。当日は、梅雨の合間の晴天に恵まれ汗ばむほどの暑さでした。東西に長い静岡県のため、西は浜松市から東は伊東市まで、また獣医学科の卒業生ばかりでなく全学科より 32 名の会員のみなさんが参集されました。伝統ある本学のことゆえ、参加者の年代も幅広く、最高齢は昭和 34 年ご卒業の青木慶祐氏でした。また、青木氏は平成 12 年度から 18 年度まで 6 年間にわたって本会の会長を務められた功績により、麻布大学同窓会長より感謝状及び記念品の贈呈を受けられました。総会議事は順調に進行し、提出議題については満場一致で採択されました。

また、本年度は本会初めての試みとして、「食の安全」をテーマにシンポジウムを行いました。パネラーには、大学より獣医学部長の浅利昌男先生、動物応用科学科より坂田亮一先生、生命・環境科学部より堂ヶ崎知格先生の 3 名の先生を派遣していただきました。今回のシンポジウムは、会員の紹介があれば聴講可能としたために当地の「静岡新聞」にも取り上げられました。シンポジウムは、先生方のお陰で内容豊富で質疑応答では時間不足を心配するほどでした。

その後、懇親会では先輩、後輩の隔てなく無礼講ということで楽しく過ごし、アツという間の 2 時間でした。老いも若きも同窓生同士、母校同窓会の発展に会員全員で協力していこうと結束を新たにしたりとひと時でした。そして、また来年も皆が元気で顔を合わせようとお互いの健康を祈念し閉会しました。

（静岡県支部事務局 杉山和寿）

